



古河市合併 10周年

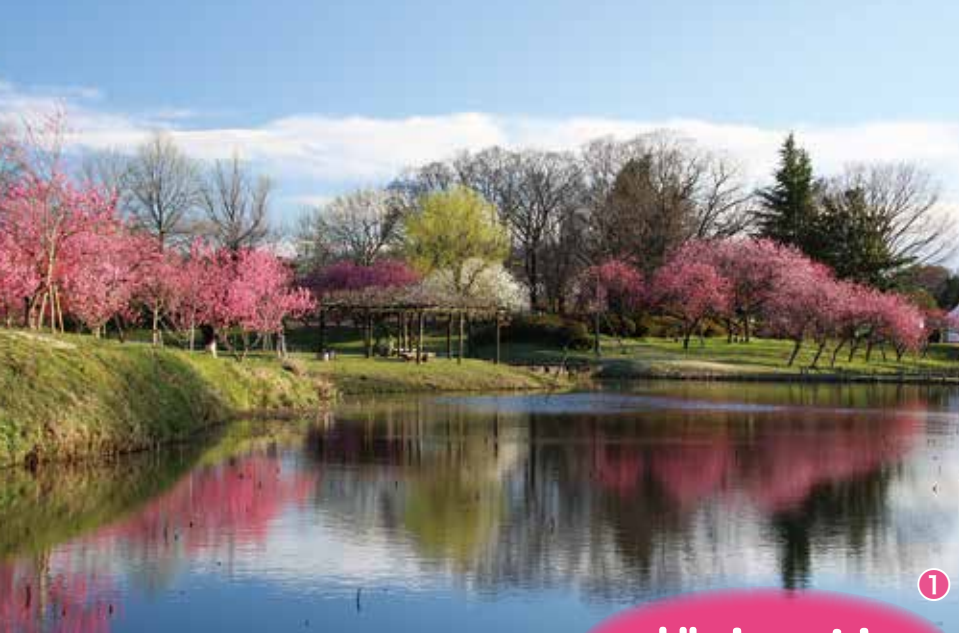


こ が
古 河

広
報

No.116

5
MAY
2015



①



②

桃まつり



③

桃色・桜色 ピンクに染まる
古河の春

桃と桜の競演



④

花桃ウォーク



⑤



⑥



9



10

さくらまつり



11

春の訪れを告げる「第39回古河桃まつり」が、3月20日から4月5日まで古河総合公園で開催されました。期間中、「矢口」「源平」など約1,500本のハナモモが競うように咲き、約19万人の花見客でにぎわった園内。訪れた観光客は、鮮やかなピンク色に染まった桃源郷のような園内で写真を撮ったり、散策をしたりして、春を楽しんでいました。【写真 ①～④】

今年で16回目を迎えた「古河まぐらがの里・花桃ウォーク」。3月28日・29日の2日間行われ、全国から約2,000人が参加しました。1日目が渡良瀬遊水地の豊かな自然を歩くコース。2日目が市内の歴史ある街並みを歩くコース。参加者は、ハナモモや桜、菜の花が咲く市内を巡りながら、ウォーキングを楽しんでいました。【写真 ⑤～⑧】

ネーブルパークを会場に開催された「第2回古河さくらまつり」。3月28日から4月5日までの期間中、約7万人が来場。土曜日・日曜日にはキャラクターショーやダンスショー、県警音楽隊のコンサートなど、たくさんのイベントが催されました。園内にはソメイヨシノ150本、八重桜250本、しだれ桜10本が植樹されており、来場者の目を楽しませていました。【写真 ⑨～⑫】



12



7



8

サンスポ古河はなももマラソン

早春の古河の街中を1万1666人が快走



3月15日、中央運動公園陸上競技場をメイン会場に「第3回サンスポ古河はなももマラソン」が開催されました。今年の大には過去最高の1万1,666人が参加。少し肌寒い花曇りの一日でしたが、ランナーにとっては最高のコンディション。フルマラソンと10キロの男女で大会新記録が生まれました。ゲストランナーは陸上世界選手権で2つの銅メダルを獲得した千葉真子さん。フルマラソンのランナーと途中まで一緒に走ったり、陸上競技場のゴール前でハイタッチをしたりして、会場を盛り上げました。また、「沿道からの応援が嬉しかった」と口にするランナーも多く、市が一体となった大会となりました。



ボランティアスタッフのみなさん
ご協力ありがとうございました



②



③



④



⑤



⑥

- ①午前10時、ゴールをめざしてフルマラソンのスタート
- ②「さー、いこう！ 記録を狙うなら古河はなももマラソン」と、元気いっぱい選手にエールを送る千葉真子さん
- ③ゴールをめざして、筑西幹線道路を軽快に走るランナー
- ④市内在住の松井威さん・琴音さん親子が、元気いっばいに選手宣誓
- ⑤フィニッシュ地点で長時間に渡り、ランナーのゴールを拍手で出迎えた菅谷市長
- ⑥手作りの応援ボードを持ってゴールを待つ家族の姿が多く見られました

ご協力ありがとうございました

「第3回サンスポ古河はなももマラソン」は3月15日、無事終了しました。ご声援をいただきました皆さまやコース沿道の住民の皆さまをはじめ、各企業、さらには大会の準備、当日の交通規制にご協力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

古河はなももマラソン大会実行委員会





古河市児童発達支援事業所が 古河市児童発達支援センター 「ぐるんぱ」に生まれ変わりました



古河市児童発達支援事業所が、4月1日から古河市児童発達支援センター「ぐるんぱ」に生まれ変わりました。

これまでの作業療法士による療育に加えて、新たに理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士を配置し、より専門的な療育を受けられるようになりました。

【問】 児童発達支援センター「ぐるんぱ」(古河福祉の森会館内)
☎ 48-7040

「ぐるんぱ」とは?

児童発達支援センター「ぐるんぱ」は、発達に遅れや偏り^{かたよ}があるお子さんに対し、日常生活における基本的な動作や集団生活に適応するための療育を行う施設です。

作業療法士や保育士等による個別訓練やグループ訓練を通じて、自立した日常生活やコミュニケーション・運動能力の向上など、発達を促すための療育等を行っています。

愛称の「ぐるんぱ」は、平成15年に児童デイサービス事業所として開設した際に名称を公募し、通所しているお子さんの保護者の投票で決まったものです。



どんなことをしているの?

■児童発達支援

・「ぐるんぱ」に週1回程度通い、日常生活に必要な知識を習得するための適切な指導や、遊具等を使った実践的な訓練を行います

・家族に対して、日頃の育児や生活環境の整備等のアドバイスをを行います

費用 約1,000円(1回あたり) [※]

■保育所等訪問支援

児童が通う保育所等へ、専門スタッフが2週間に1回程度訪問して、集団生活に適應するための指導や訓練を行います

費用 約1,100円(1回あたり) [※]

■障がい児(者)相談支援

障がいのある人が自身の課題を解決して自立した生活を送るため、相談支援専門員が適切な福祉サービス等の利用を支援します

費用 無料

※各家庭の収入に応じた負担上限があります。



利用したご家族の声

子どもの変化

- 友だちとのコミュニケーションがスムーズになった
- 以前は落ち着きがなかった子どもが、訓練を通して穏やかになった
- 訓練を重ねるうちに体力がつき、丈夫になった
- 「明日ぐるんぱに行くのが楽しみ」と言うようになった

家族の変化

- 子どもの成長に合わせて、ゆっくり見守ってあげることが大切だと実感した
- 育児に余裕が持てるようになった
- 早期に療育を始めれば障がい^{つれ}を克服できることが分かった
- 本人も自分の気持ち^{つれ}を理解してもらえ喜びを感じ、自分から友だちに話しかける姿が見られて嬉しかった

「ぐるんぱ」(児童発達支援)を利用するには

利用対象

市内在住で、医師の診断を受け、または市の発達相談で相談した、発達に遅れや偏りがある未就学のお子さん

定員 1日28人

サービス提供時間

月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)
午前9時30分～午後5時



手続きの流れ

- ①事前相談
事前に電話で「ぐるんぱ」へ相談
↓
- ②児童通所給付費の支給申請
利用を希望する児童の保護者が障がい福祉課で申請
↓
- ③児童通所支援利用計画等の作成
市内の相談支援事業所へ依頼し事業所が児童に合った計画案を作成
↓
- ④支給決定
計画案に基づく決定通知書と受給者証の交付
↓
- ⑤「ぐるんぱ」との契約
決定通知書と受給者証に基づき契約を結び利用開始

発達に遅れや偏りがあるお子さんは、早期に療育を開始すると効果的といわれています。ご家族だけで不安や疑問を抱えず、気軽にご相談ください。



民生委員・児童委員は
市民と行政との
「つなぎ役」です



5月12日は
「民生委員・児童委員の日」

民生委員制度は、岡山県の^{さいせい}濟世顧問制度が大正6(1917)年5月12日に発足。その後全国へと広まり、現在に至っています。このことにちなみ、5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定め、社会福祉の増進に取り組む決意を新たにしている日としています。

「民生委員」は、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱されます。児童福祉法に基づく「児童委員」の職を兼務していることから、「民生委員・児童委員」といいます。民生委員・児童委員の中には、子ども・子育て家庭に関することを専門的に担当する「主任児童委員」がいます。

市内には225人の民生委員・児童委員がいて、そのうちの12人が主任児童委員です。

乳幼児から高齢者まで誰もが安心して地域で暮らせるよう、生活上の悩みや心配ごとの相談に広く応じています。



民生委員・児童委員は
地域福祉のボランティア

地域に住み、地域の実情をよく知り、福祉活動に関心があるなど要件を満たす人の中から、自治会・行政区など地域の推薦を受け、市の民生委員推薦会、県の社会福祉審議会を経て厚生労働大臣から委嘱されます。

特別職の地方公務員(非常勤)で、ボランティアとして活動しており、給与はありません。任期は3年で再任も可能です。

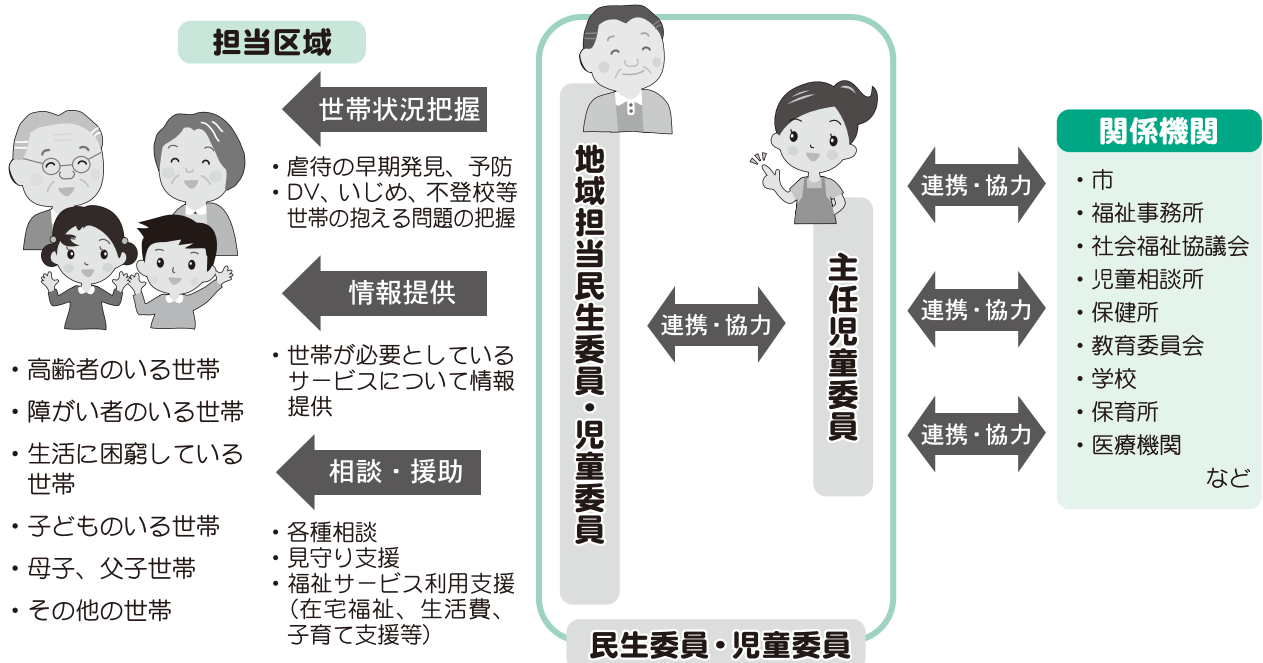


▲流山市民生委員児童委員協議会との交流会



民生委員・児童委員、主任児童委員は このような活動をしています

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



一人で悩まず ご相談ください

民生委員・児童委員、主任児童委員には守秘義務があり、相談内容や個人情報などの秘密は守られます。子育て、介護、健康、医療など、生活の中で気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

地域の皆さんが、福祉の制度やサービスを必要なときに利用できるように、行政機関と協働して福祉関係の調査、情報の提供を行っています。

なお、皆さんの地域を担当する民生委員・児童委員、主任児童委員については、福祉総務課に問い合わせください。

【問】福祉総務課(総和福祉センター「健康の駅」内) ☎92-5771



▲古河市オレンジリボン街頭キャンペーンでは、主任児童委員が関係機関と子ども虐待防止運動に取り組んでいます



民生委員・児童委員の マーク

幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルのハトをかたちどり、愛情と奉仕を表しています。

古河市の公共施設等を効率的・効果的に管理・運営するための基本方針を策定

古河市公共施設等総合管理(ファシリティマネジメント)基本方針 [概要]

市は、高度経済成長期からバブル期にかけて、人口の増加や行政サービスに対するニーズに対応するため、多くの公共施設や社会基盤(インフラ)を整備してきました。

人口減少や少子高齢化等が進むなか、将来にわたりすべての公共施設等をこれまでと同様に保有・維持していくことは現実的に困難です。

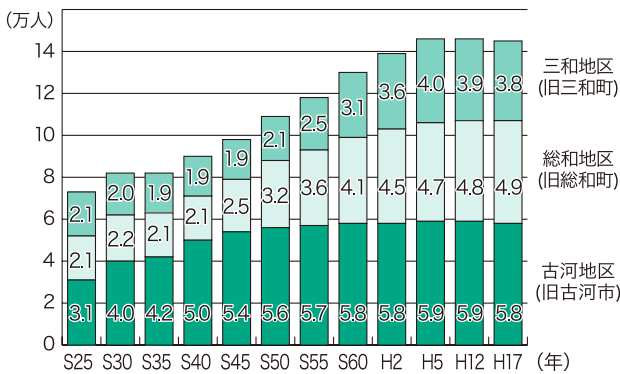
今後も持続可能な行政サービスを提供するため、「ファシリティマネジメント」の考え方を導入し、公共施設等の適正な管理および活用を図ります。

【問】 財産活用課(総和庁舎) ☎92-3111

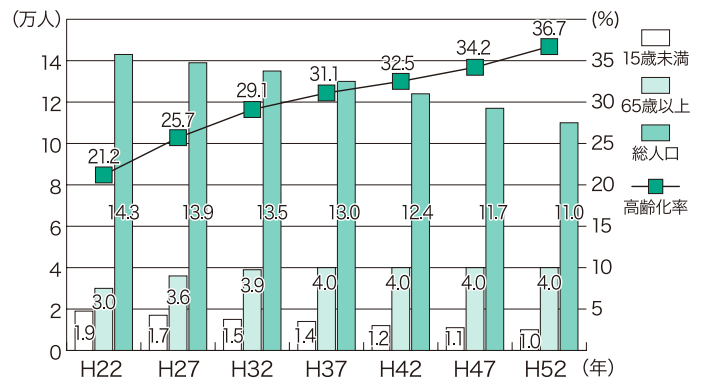
1 人口の推移と将来人口

今後、15歳未満人口は減り、高齢化率(65歳以上の割合)は上昇する見込みです。

①人口の推移



②将来人口

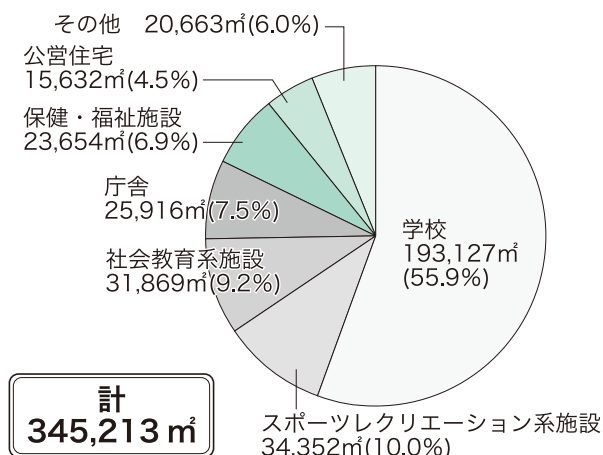


根拠資料：総務省統計局『平成22年国勢調査』、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)

2 公共施設等の数・量

①公共施設種類別延床面積(割合)

学校(小中学校32校)が全体の半分強を、スポーツ施設が10%程度を占めています。



②主なインフラ資産

■道路

一般道路		自転車歩行者道	
実延長合計	道路面積合計	実延長合計	道路面積合計
1,782,611m	8,408,152㎡	153,809m	489,980㎡

■橋りょう

実延長合計	橋りょう面積合計
2,762m	18,272㎡

■下水道・農業集落排水

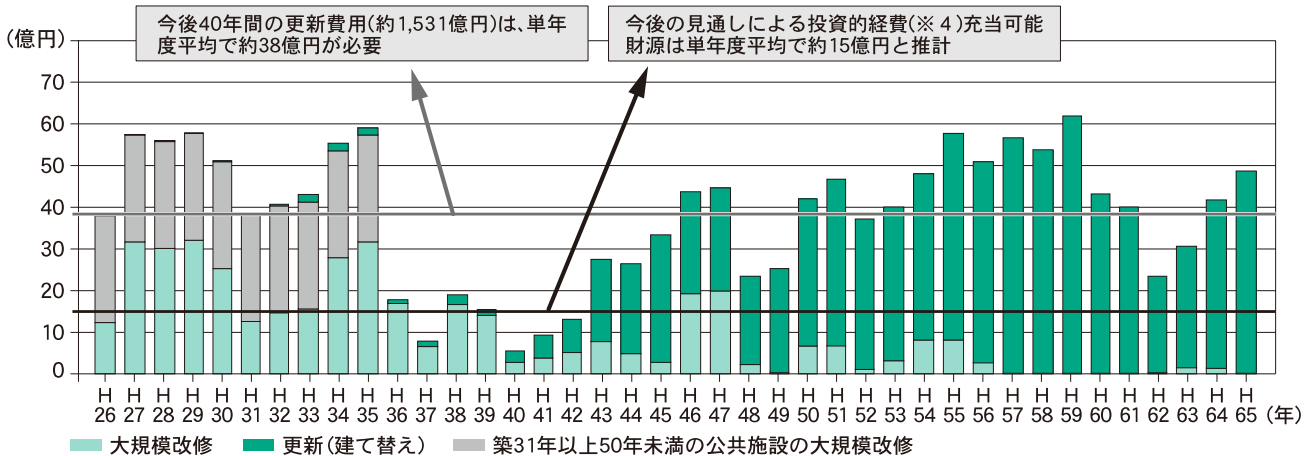
公共下水道		農業集落排水	
実延長合計	普及率	実延長合計	普及率
456,176m	57.1%	33,968m	7.8%

■上水道

実延長合計	普及率
996,274m	95.9%

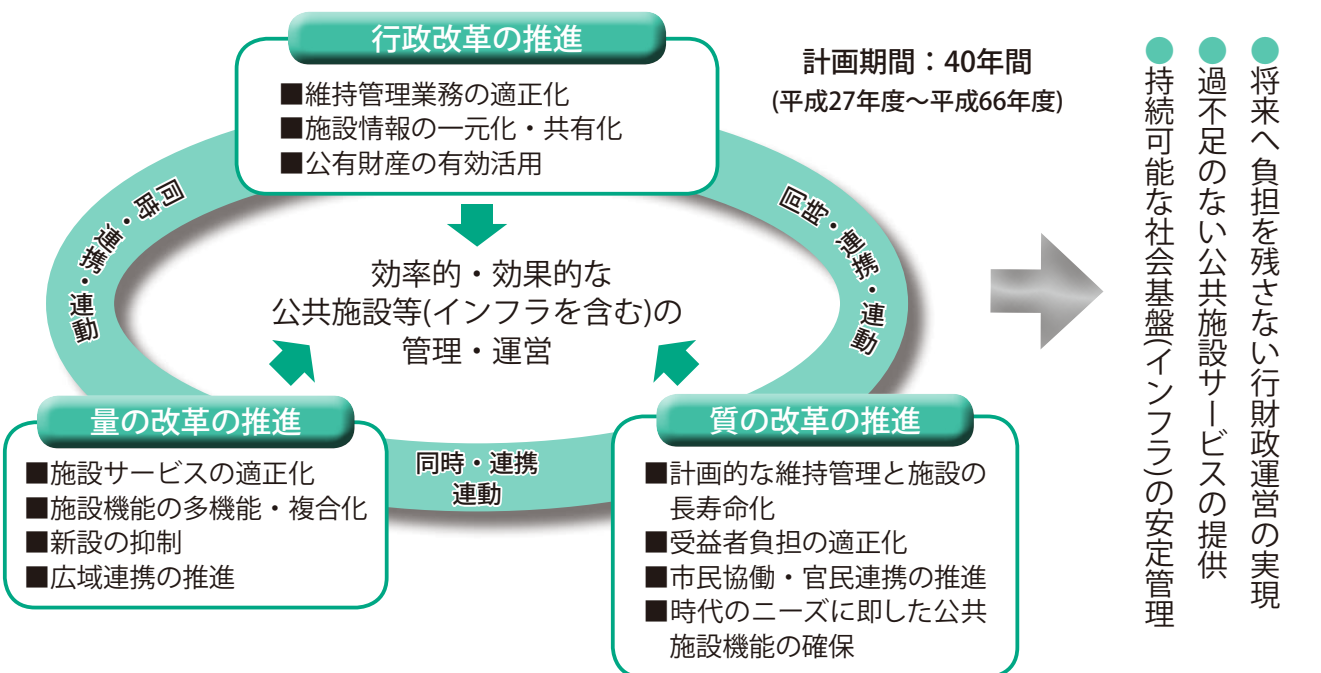
3 今後の公共施設の更新費用(推計)

市の公共施設をすべて更新する場合、更新費用の総額は今後40年間で約1,531億円(単年度平均で約38億円)と算出(※1)されます。しかし、実際に充てることができる財源は、扶助費(※2)の増加や合併特例措置の終了(※3)などを考慮すると、大きく不足することが想定されます。



- (※1)公共施設寿命を60年と設定し、築31年目を大規模改修の時期、築61年目を建て替えの時期として仮定し、更新費用を算定。また、施設年数が31年以上50年未満の施設の大規模改修の積み残しについては、直近10年間をかけて解消することで算定。
- (※2)扶助費…医療給付費、介護給付費、児童福祉費など、社会保障制度の一環として生ずる経費。
- (※3)合併特例措置の終了…合併特例債の発行期間が古河市では平成32年度で終了。また、市へ交付される普通交付税は平成28年度から段階的に縮減が始まり、平成33年度に合併算定替が終了。
- (※4)投資的経費…公共施設の建設等、社会資本の形成に資する経費。

4 ファシリティマネジメント基本方針の考え方と取り組み



ファシリティマネジメントって何？

土地や建物等に代表される資産を、経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画・管理・活用するというものです。資産を維持・保全するだけでなく「より良いあり方」を追求する考え方です。

若者の力で 古河を元気に!

若者が持っている自由な発想をまちづくりに生かしたい。市では、20歳から40歳までの人が実施する地域の活性化につながる青年企画提案活動に対し、資金や広報などの面を支援しています。「友人と楽しいイベントをやってみたい!」「古河を元気にしたい!」と考えているあなた。熱意と創造的な提案をお待ちしています。

ここでは、平成26年度に行われた活動を紹介します。
【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

NO LIMIT



古河市元気プロジェクト実行委員会が行ったダンスを中心にしたイベント。参加したすべての人が、夢と希望、人とのつながりを感じてもらえるイベントを開催。

モノツクルクル縁日



クラフト作家や地元商店によるイベント。「夏祭り」をテーマに、縁日風ディスプレイやお化けグッズの販売などが行われました。

野木レンガ場幻の図面と古河城最後の図面



国土交通省利根川上流河川事務所の書庫から発見された渡良瀬川と思川の河川図の複写12面を展示した企画展を開催。

フリーマーケットin古河～地域のつながりと交流～



リユース(再利用)、リミックス(手作り)の推進や市民交流を目的としたイベント。作る楽しさを体感できる体験コーナーは大人気。

みわの森



クラフトマーケットをはじめ、オーガニックサウンドライブやおいしい食べ物など、秋の魅力を満喫。地元野菜をはじめとしたファーマーズマーケットも開催。

トロマップ ～古河デ宝モノ探シ～



古河市の魅力再発見を目的に、市内のレトロ雑貨や古物店に特化した散策地図を作成。市内の雑貨店・飲食店等に設置しました。

河川敷に消えた名城 古河城プロジェクト



「歴史のまち」古河をPRするため、花桃ウォークのコース上で古河城の説明等を実施。古河城を再現した3D画像も公開。

平成27年度の青年企画提案活動募集の詳細は、市公式ホームページ等でご確認ください。一緒に古河市を盛り上げていきましょう!

みんなで守り育てよう 古河市の森林

市内の平地林や里山林は、近年荒廃が進んでいます。このままでは、森林の持つ地球温暖化防止などの多面的機能の低下や、周囲の見通しが悪くなるなどの安全環境の低下が懸念されます。

市では、快適で身近なみどりの創出のため、茨城県森林湖沼環境税※を活用した「身近なみどり整備推進事業」による平地林・里山林の整備保全に取り組んでいます。

※森林湖沼環境税とは…個人、法人県民税に上乗せして徴収され、森林や湖沼、河川の環境保全に取り組む事業に活用。

住宅地周辺や通学路沿いなどの
森林整備が必要です

整備前



整備後



整備したことで見通しがよくなり、
通学路の安全性が向上しました

■整備事業の実績

(面積:ヘクタール)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
古河市	0.69	10.43	8.72	9.85	11.24	9.35	11.10	10.00 (計画)
茨城県	118.40	200.91	194.52	262.48	244.11	164.92	200.00 (計画)	200.00 (計画)

■整備事業の対象条件

- 民有林または事業実施後に森林となることが確実な区域であり、地域の環境保全に役立つ区域(古河市森林整備計画)
- 1施工地の区域面積がおおむね0.05ヘクタール(500平方メートル)以上の区域
- 市と森林所有者等において、10年間の森林の転用禁止などを定めた「森林保全管理協定」が締結されることが確実な区域

※整備事業は1回限りで、以降の整備は所有者等に継続的に実施していただきます。

■整備の事例

平地林や里山林の下草刈り、整理伐(低木・枯れ木の整理)、森林に侵入する竹の駆除作業

- 通学路沿いや住宅地周辺、農地に隣接している森林

この事業に関する問い合わせ

- 農政課(三和庁舎) ☎76-1511
- 茨城県林政課森づくり推進室
☎029-301-4021
📧<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/rinsei/shinkozei/forest/contents/02/index.html>
- 茨城県県西農林事務所林業振興課
☎0296-24-9176

みんなでつくろう～消費者が主役の社会～

5月は消費者月間です

市では、「古河市消費生活センター」を設置し、市民の皆さんの消費生活に関する相談を受け付けています。

平成26年度は、821件の相談が寄せられました。商品やサービスの売買等について不安や疑問がありましたら、気軽にご相談ください。

【問】 商工政策課(総和第2庁舎) ☎92-3111



古河市消費生活センターに寄せられた相談

●事例

実家の母は一人暮らしをしている。ある日、電話で「不要な着物はないか」と聞かれ「ない」と答えたら、手拭い1本、ワイシャツ1枚、何でもいから買い取りに訪問したいと言われた。断ったが、強引な言い方だったので不安だ。

●対応

はっきりと断ったのであれば、あまり心配しないようにと話しました。



●センターからのアドバイス

飛び込みの訪問購入は禁止されています。無条件で契約解除ができる「クーリング・オフ制度」を利用しましょう。クーリング・オフ制度について書かれた書面を受け取った日から8日間は、物品の引き渡しを拒むことができます。

また、事前に「着物を買いたい」との電話があったが、実際は「指輪を売ってくれ」と言われたとの相談もあります。

物品によってはクーリング・オフ制度の対象にならない場合がありますので、断ってもしつこく勧誘される場合は、すぐに消費生活センターや警察にご相談ください。

「出前講座」を開催中です

古河市消費生活センターでは、出前講座を開催しています。

老人クラブ、自治会や行政区、学校等の皆さん、消費者トラブルに遭わないために、正しい知識を身に付けましょう。



古河市消費生活センター

場 所 総和庁舎(第2庁舎)3階商工政策課内
相 談 日 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前9時～正午、午後1時～4時
電話番号 92-8811

市公式ホームページで
相談事例を紹介中!



カードを持って
お出かけ
しましょう！

いばらき高齢者 優待制度をご利用ください



平成26年12月から、いばらき高齢者優待制度がスタートしました。この制度は、地域や企業、行政が一体となって高齢者を支え合い、高齢者の積極的な外出と健康増進を目指すものです。

協賛店舗で専用の「いばらきシニアカード」を提示すると、さまざまなサービスを受けることができます。

さあ、カードを持ってお出かけしましょう。

【問】高齢福祉課（総和福祉センター「健康の駅」内）
☎92-5838

◆「いばらきシニアカード」とは

茨城県内に在住する65歳以上の高齢者が、協賛店舗にシニアカードを提示すると、協賛店舗が設定した割引やポイント加算などのサービスを受けることができます。

◆カードはどこで使えるの？

協賛店舗には、シニアカードをデザインしたステッカーが貼ってあります。目印にしてください。

サービス内容や協賛店舗情報は、専用ホームページ(<http://senior.pref.ibaraki.jp>)をご覧ください。

◆カード裏面は緊急時の連絡用に

カードの裏面に緊急時の連絡先やかかりつけ医などを記載することで、緊急連絡用カードとして活用できます。

カードの利用は、65歳以上のご本人様のみ可能です

フリガナ 氏名	市町村名		
生年月日(明・大・期)	年	月	日 血液型 型立
住 所			
緊急連絡先 電話	(様方)
かかりつけ医	電話		
管轄	地域包括支援センター 電話		

◆カードはどこでもらえるの？

申請場所 65歳以上の本人が以下の窓口で申し込み

- ・高齢福祉課(総和福祉センター「健康の駅」内)
- ・古河庁舎市民サービス室
- ・三和庁舎市民サービス室

申請に必要なもの

- ・身分証明書(運転免許証、健康保険証、介護保険証、住民基本台帳カードなど、住所・氏名・生年月日が確認できるもの)



東京や東北方面へのアクセスが向上 圏央道境古河IC～久喜白岡JCT 県道結城野田線バイパス



▲人・物の交流が活発となり、地域活性化が期待されます（写真は圏央道境古河IC料金所）

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の境古河インターチェンジから東北自動車道久喜白岡ジャンクション間の約19.6kmが、3月29日に開通しました。また、圏央道の開通に合わせて整備を進めてきた県道結城野田線バイパス(古河市谷貝から境町猿山まで約3.07km)も3月25日に開通。これらの開通により、企業誘致が進み、地域経済が活性化することが期待されています。



▲バイパスの開通を記念し行われたテープカット（右から4人目が菅谷市長）

子育て支援事業の充実 古河市子ども・子育て 支援財団が設立

市では、子育てしやすいまちづくりを推進するため、一般財団法人「古河市子ども・子育て支援財団」を設立しました。財団の出資金は市が全額負担し、財団の事務所は古河福祉の森会館内に設置しています。

これまで市が古河市社会福祉協議会に委託してきた児童クラブや子育て広場など、子育て支援事業を引き継ぐほか、子育てに特化した事業を展開していきます。



▲3月13日に行われた設立総会であいさつをする菅谷市長

姉妹都市
だより

さくら市は 市制10周年を迎えました

姉妹都市・栃木県さくら市は3月28日、市制10周年を迎えました。氏家町・喜連川町が合併して誕生したさくら市。桜の名所があることや桜のように美しいまちになってほしいと願いを込めて名付けられました。この日行われた記念式典で人見健次市長は「なお一層、活気のあるまちを作っていきたい」と、多くの来賓と関係者に11年目への歩みを進めることを誓いました。



▲式辞を述べるさくら市の人見市長

注目! まちの話題

● 新たな門出 市内小中学校入学式

市内の中学校で4月6日、小学校で4月7日に、それぞれ入学式が行われました。今春の新入生は中学校1,159人、小学校1,235人。期待に胸を躍らせながら、新生活のスタートを切りました。

今年創立30周年を迎える中央小学校では、77人の1年生が入学。少し緊張した面持ちでしたが、一人ひとり名前が呼ばれると「はい!」と元気よく返事をしていました。

新入生の皆さん、たくさん友だちをつくって、よく学び、よく遊んで、楽しい学校生活を送ってください。



▲上級生と手をつないで入場する1年生

● 輝く未来への第一歩



▲今後の大いなる活躍を期待します

4月8日、とねミドリ館(生涯学習センター 総和)で「平成27年度新規学卒者合同受入歓迎会および優良従業員表彰式」が行われました。

この式典は、市内の事業所に入社する新規学卒者を激励するとともに、永年勤続者で模範的な従業員を表彰し、雇用の定着性と従業員の士気の高揚を図ることを目的に行われています。

今年の新規学卒者298人(51事業所)には記念品、137人(63事業所)の優良従業員には表彰状と記念品が贈呈されました。

● 目指せJリーガー 全国高校招待サッカーフェスティバル



▲激しい競り合いが見られました

3月25日～27日の3日間、古河市サッカー場およびリバーフィールド古河で、第35回古河市全国高校招待サッカーフェスティバルが行われました。この大会は毎年春に開催されるもので、全国から16チームが集い、熱戦を繰り広げました。

市内からは古河第一高等学校と古河第三高等学校が参加。古河第一高等学校が2年ぶりの優勝を果たしました。

春のうららかな日差しの下、選手たちは元気にはつらつとプレーをしていました。

キラッ! 輝く人たち

2月に開催された第31回ニュークリエイティブ展(主催：現代手工芸作家協会、後援：東京都)において、パッチワーク・創作人形・トールペイント・和紙ちぎり絵など手工芸約200点の中から、稲葉好治さんの竹工芸・竹絵『遠きふるさと』が入選しました。

さらに、この作品は秋にフランス・パリで開催される「日本現代美術展」に展示されることが決定。古河の「竹工芸・竹絵」が世界に進出する喜びを稲葉さんにお聞きしました。

技術の向上を目指して常に進化

「今は3Dの時代。立体的で光の当たり方や見る角度で作品の表情が変わりますよ」と話す稲葉さん。竹絵は、竹の肉質の部分^{のうたん}を板状に加工し、鉄板の上で焼き焦がして濃淡をつけ、陰影^{いんえい}を表現します。着色は一切行わず、微妙な色の違いや模様、曲線を生かして立体的な作品を作り上げています。

稲葉さんの作品のテーマは、日本の原風景。なつかしい茅葺き屋根の茅一本一本を丁寧に仕上げています。「すごいな、きれいな、だけで終わるのではなく、見た人の想像力をかき立てるような作品づくりを心掛けている」という稲葉さん。なるほど、これまでの経歴をお聞きして納得しました。

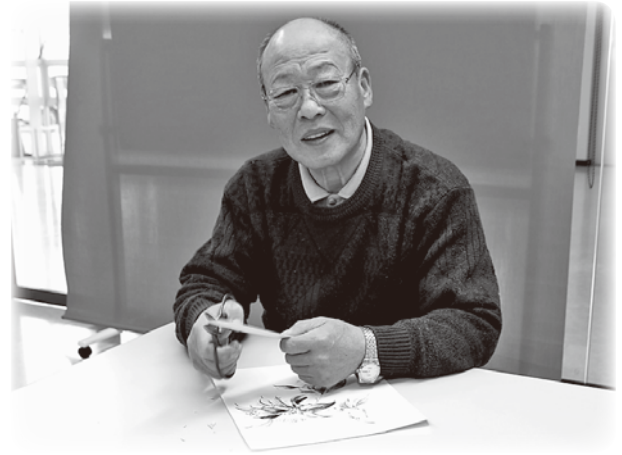
東映で照明一筋35年

映画・テレビの製作等を行う東映株式会社で、18歳～53歳まで照明スタッフとして、その後は制作・事業部など60歳の定年まで勤務。映画200本以上、テレビドラマも200本以上を手掛けたといいます。

「照明は光と影をコントロールする仕事。照明の当て方次第で、表情や雰囲気、印象の伝わりがまるで違ってきます。台本をもらったら、高倉健さんをはじめ俳優や女優のカット・シーンを常に考え、調整していました」。これまで勤めてきた東映でのキャリアが、作品づくりに生かされているようです。

「竹に魅せられて」

稲葉 好治さん
(74歳・本町)



芸術の都・パリへ

11月18日～24日までルーブル美術館近くのギャラリーで行われる「日本現代美術展」は、在フランス日本国大使館、観光庁などの後援を受けて平成25年から実施している日仏交流事業「Japan Moment」の一環。さまざまな分野の日本人アーティストの作品が展示される予定です。

「芸術の都・パリでの展示は、とても誇らしい。フランス人や多くの観光客に、古河市や古河市の竹絵を知ってもらえれば嬉しい」と語っています。



▲ 3月10日に市役所を訪れ、菅谷市長へ入選の報告をしました(入選作品『遠きふるさと』)

図書館のオススメ

◇一般書

・恋路ヶ島サービスエリアとその夜の獣たち

森 晶麿 著

四国と淡路島の境目にある「恋路ヶ島サービスエリア」。この売り子になると、1年以内に恋人からプロポーズされるといふ伝説がある。そんな伝説を少し信じている理代子は、新入り清掃士の一言から騒動に巻き込まれていく。

出版社…講談社
分類…Fモ

・龍安寺石庭

細野 透 著

枯山水の石庭で知られる龍安寺。石庭は15の自然石からなり、その配石の妙は見る者の心を魅了する。なぜ、あのようにレ

イアウトされているのだろうか。15の石をめぐる「五十五の推理」を集大成し、石庭に隠された謎に迫る。

出版社…淡交社
分類…629ホ



◇児童書

・星空から来たコロ

やまもと じゅんこ 著
息子を亡くして落ち込んでいたパパとママのところへ、柴犬の「コロ」がやってきた。コロのおかげで、生活が明るくなり、笑えるようになったパパとママ。実はコロは亡き息子の生まれ変わりか……？

出版社…文芸社
分類…913ホ

◇絵本

・あかちゃんうさぎとパパ

パッツィ・スキヤリー 作
この子は大きくなったら何になるかな？おまわりさん、サーカスのピエロ、カウボーイ……。あかちゃんが生まれ、楽しい想像をふくらませるうさぎ一家。あかちゃんうさぎの素敵な夢は？

出版社…好学社
分類…Eア

中央公民館

注目企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

「技術を磨いて、職場で欠かせない存在に」

宇賀神電機株式会社勤務 柳橋 一輝さん

専門学校で金属加工を学び、その技術を生かすべく現在の会社に入社したという柳橋さん。21歳、部署で最年少のホープです。主な担当業務は、配電盤の金属箱部分の製造。電力会社から供給される電力を管理する配電盤を収納する巨大な箱を、金属の板から成形する仕事です。

溶接機やドリルを使用するのでけがをしないよう細心の注意が必要です。先輩の話をよく聞き、丁寧な作業を心がけています。

目指す企業人像是、安心して仕事を任せられ、周囲から「この人がいなければ」と言ってもらえる人。でも実際は、まだまだ先輩から注意されることも……。

仕事で疲れたときは、大好きな音楽を聴いてリフレッシュします。好きなジャンル

はロックンロール。聴くだけでなく、仲間と結成したバンドではギターを担当し、休日は東京に出向いてセッションを楽しんでいます。

最後に今後の目標を尋ねると、レーザー加工機の技術習得との答えが。職場でのさらなる活躍が期待できそうです。

■プロフィール

家族や友人からは「人とすぐ仲良くなれそう」と言われますが、実際は少し人見知りします。入社3年目。けやき平在住。



古河文化見聞録

中村威の絵画世界

ほのかに空の色を映した水をたたえ、画面ほぼ中央にたたく大きな沼。遠くに連なる山々を望みつつ、穏やかな表情をした沼の手前に目を移すと、刈り入れ中の黄金色の麦畑が広がっています。新緑も濃くなりはじめた初夏の頃、いままさに収穫を迎え、家族総出で立ち働く活気ある里山の集落の様子が、開放感あふれる画面から生き生きと伝わってきます。

「麦秋」という名の本図の作者・中村威は、古河に生まれ育った日本画家ですが、多くの優品を描きながら、あまり周知されていない人物といえるでしょう。

今号では、知られざる郷土の画家・中村威とその絵画について紹介します。

生い立ち

中村威は、中村正躬の長男として、明治31(1898)年古河城内に生まれました。5歳の頃に古河城出城諏訪曲輪跡、現在の古河歴史博物館のある場所に移住します。中村家は旧古河藩主土井家の家臣で、父、正躬は大正9(1920)年に古河町長を務めた人物でした。

物心ついたときから絵を描くことが大好きだったという中村ですが、明治44(1911)年古河男子小学校を卒業したのち、水戸中学校に進学し、勉学に励みます。本格的に絵画を学びはじめたのは、大正5(1916)年に同校を卒業した後のことでした。

師について日本画を学ぶ

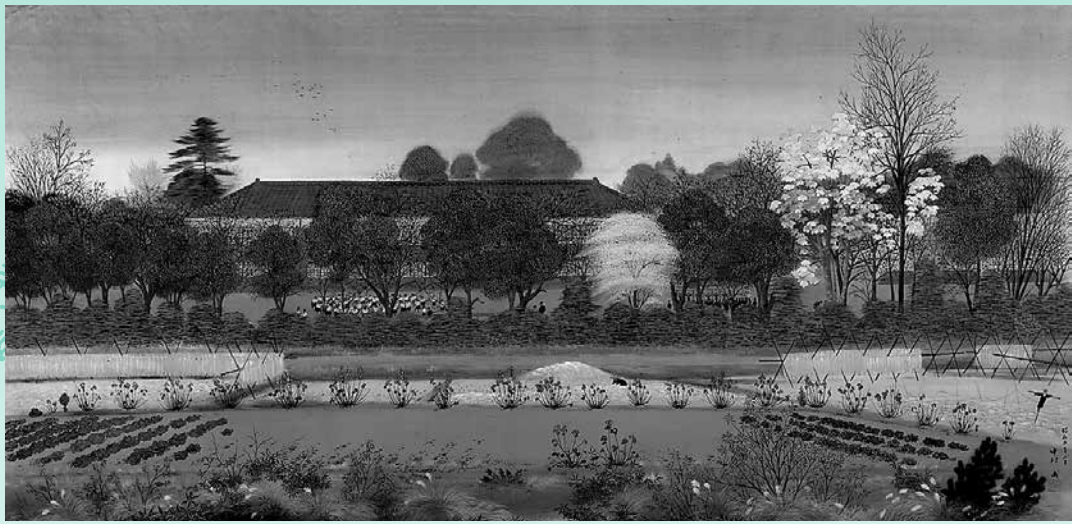
さて、18歳になった中村は、東京の日本画家・山内多門(1878～1932)に師事し、日本画の技法を学ぶことになります。

師の多門は宮城県の出身。上京して川合玉堂、橋本雅邦に学び、山水画を得意としました。帝展の前身である文展で入選・受賞を重ねて活躍、その後、帝展審査員を務めるなど、中央画壇においても重要な地位にいた画家でした。

多くの後進の指導に努めた多門ですが、その門下生たちによって、大正8(1919)年「若葉会」という絵画研究会が結成されました。多門を会頭とする若葉会では、研鑽の成果を発表するための定期展が開催され、中村はこの展覧会でたびたび受賞しており、有望な門人のひとりであったことがうかがえます。そして、それを裏付けるように、大正14(1925)年、茨城新聞社の主催する茨城美術展覧会に出品した中村の作品が、県賞第二席を受賞し、県知事買上となります。ちなみに、このときの審査員には、横山大観、木村武山、小川芋銭などが携わっていました。



「麦秋」昭和5年
(第11回帝展入選)



「出城より実科女学校を望む図」昭和5年
作者が住まいのある古河城出城跡から、現在の古河第一小学校のある場所にあった
実科高等女学校の見える風景を描いた作品

帝国美術院展覧会に入選

その後も絵画修行に励み、技量を身につけていくなか、昭和5(1930)年、冒頭で紹介した作品「麦秋」が第11回帝国美術院展覧会に初入選を果たします。このことについて、古河の地方新聞「関東タイムス」(昭和5年10月16日)は、次のように報じています。

苦心酬いられ 帝展へ入選 古河で最初
帝展第一部日本画麦秋を出品して、本県只一人の初入選者、古河町中村威(33)氏は、大正六年水戸中学卒業後、東京山内多門氏に師事して専ら日本画の研究に努めていた天才的画家で、十四日午後八時出城閣の高台に吉報をもたらして自宅を訪えば満面に喜色を漂わして語る。入選！少しも知りません。あの作が入選するとは意外でした、私は大正十四年と昭和二年に茨城美術展に入選しましたが、帝展へは初入選です、これもみな先生のおかげですよ、あの作は約四ヶ月かかりました。(一部表記を改めました)

帝国美術院展覧会(帝展)は、国家主導の大規模公募展で、現在の日展の前身にあたります。つまり当時の権威ある官展で、古河から初めて帝展入選者が出たことは、作者はむろん古河にとっても大変名誉な出来事であったことがうかがえます。

昭和7(1932)年に師・多門が亡くなったからは、ほぼ独力で画業に励み、昭和11(1936)年には改組第一回帝国美術院展に入選、また茨城美術展にも入選を重ねました。

普通で懐かしい 不思議な絵画世界

中村の作品の多くは風景に取材した絵画ですが、いわゆる景勝地などはほとんど描いていません。彼が取り上げたのは、渡良瀬の沼地や身近な田園風景など、古河で暮らしているならば、日頃から目にするあたりまえの風景でした。生活の営みのにじみ出た、いわば絵にならない風景を絵にするというテーマにあえて取り組んだ中村の姿勢は、目に映る現実の世界を絵画化するという、近代性を身につけた画家のそれであったといえるでしょう。

そして、これらの一見あか抜けない普通の風景は、中村の筆によって、見るものを楽しく懐かしい心持ちにいざなう、不思議な魅力を持った世界に紡ぎ出されます。それは、一般的な写生の表現を超えて、作者の内的世界を託したユートピアとして昇華することのできる画家としての彼の力量を示すとともに、日常風景が意味深いものとなって心に響いてくる普遍的な世界を与えてくれることを意味します。この心から素直に楽しめる、お仕着せのない平明な作品には、郷土を愛し、名利を求めることなく描きたいものを描いた中村自身の、肩の力の抜けた飄逸な人柄が反映されているといつてよいでしょう。

今なお鑑賞者が幸福気分ひたれる郷愁豊かな作品を遺し、中村威は平成元(1989)年、91歳の生涯を閉じました。

古河歴史博物館学芸員 倉井直子

「長寿」から 「元気で長生き」へ

わが国は、世界トップクラスの長寿国となり、超高齢化社会へと進んでいます。これからはただ「長寿」を目指すのではなく、できるだけ自立して、住み慣れた地域で、何歳になっても自分らしくいきいきと暮らし、「元気で長生き」を目指しましょう。

心身の老化は 防ぐことが可能です

「老化は仕方がないこと」と考えていませんか？

実はそうではありません。高齢者が心身の機能を低下させてしまう最大の原因は「もう年だから」「おっくうだから」と身の回りのことや家事、外出をしなくなることにあります。このような生活を続けていると筋力や意欲が低下し、やがて寝たきりや認知症を招くことになってしまうのです。

元気なうちから心身の老化を防ぐ生活『介護予防』を始めましょう。



介護予防が 目指すものとは

からだを動かすことに無理がなく、生活に必要なことが自分で行え、社会活動に参加でき、自分らしく生きがいをもって暮らせる生活です。

生活機能低下のサインに 気づきましょう

寝たきりなど重度の介護状態も、はじめは「つまづくことが多くなった」「食べる量が減った」「固いものが噛めなくなった」といったささいな衰えからです。

早めにサインに気づき、介護予防に取り組むことが大切です。

気をつけたい危険なサイン

①日常生活動作

日常生活のこまごまとしたこと(日用品の買い物・預貯金の出し入れなど)が自分でできなくなってきたら要注意。

②運動器の機能

筋力が低下すると転倒しやすくなります。寝たきりの原因の多くは転倒による骨折です。

③低栄養

偏った食生活は低栄養を招きます。バランスよく楽しく食事しましょう。

④口腔機能の低下

食べることや会話することの楽しさに、お口の健康は欠かせません。

⑤閉じこもり

家に閉じこもってばかりいると寝たきりや認知症につながる恐れがあります。

⑥認知症

認知症は老化現象と思われがちですが、脳の障害による病気です。老化による物忘れなのか、認知症によるものなのか早めに気づき、早期治療することで進行を遅らせることもできます。

⑦うつ症状

配偶者や友人の死別、仕事などの役割がなくなるなどの喪失感からうつ状態になりやすくなります。早期発見・早期治療が大切です。

どうすれば 介護予防できるの？

特別なことをするのではなく、普段の生活にちょっとした工夫をすることです。

これから、介護予防シリーズとして5回にわたって具体的な介護予防の取り組みについてお伝えします。

次回(7月号)は、介護予防に効果的な運動について紹介します。脳トレになる問題も掲載していく予定ですので、お楽しみに。

高齢福祉課

穏いパークの魅力

自然と歴史と新茶まつり



風薫る新緑の季節がやってきました。古河総合公園では、フジ、スイレン、アヤメ、ハナショウブなど、多くの植物が美しい花を咲かせ、訪れる人を迎えてくれます。お花探しの散歩を、楽しんではいかがでしょうか？

また、富士見塚という小高い丘では、のり面を使って子どもたちが芝滑りをしたり、園内に流れるせせらぎで水遊びをして楽しんでいます。

5月10日の日曜日には「第14回ふるさと古河新茶まつり」が開催されます。公園内にある茅葺き屋根の古民家とその周辺に広がる茶畑が会場となります。

茶畑の下からのぞむ風景は、昔にタイムスリップしたかのような、どこかなつかしい、ふるさと感じることが出来ます。

新茶まつりでは、茶摘み体験、百席茶会、茶もみ実演、新茶等の販売など、さまざまな催し物が行われます。また、お茶娘による茶摘みのデモンストレーションも実施しますので、ぜひご覧ください。

自然と歴史に親しみながら、さわやかな一服を満喫してみたいはいかがでしょうか？

公園でのよき時間をお過ごしください。

【問】古河総合公園管理棟
☎47-1129



表紙写真



ネーブルパークの子育て広場「ヤンチャ森」北側に、電動式ミニSLが設置されました。

さくらまつり開催中の4月1日から運行を始め、ミニSL「やんちゃ号」には毎日たくさんの親子が行列をつくっています。外周は約120メートル。手元のスイッチを押すと「ポー、ポー」と汽笛が鳴り、子どもたちは大喜びです。

表紙写真は、笑顔いっぱいの親子がカメラに向かって手を振ってくれたところを撮影した一枚です。

表紙の題字について

「古河」の書体は、篆刻に用いる古い文字のひとつで、小篆といいます。中国全土を統一（紀元前221年）した秦の始皇帝が公式に採用した書体です。

古河市データ

人口



（4月1日現在）住民基本台帳から
総人口… 144,972人（- 59）
男……………72,886人（- 24）
女……………72,086人（- 35）
世帯数…58,499世帯（+199）
（ ）内は前月比

★わが家のアイドル★



あさひ 後藤朝陽くん・なな 菜々ちゃん
(6カ月・2歳 尾崎)

菜々ちゃんは幼いながらも、毎日弟の朝陽くんのオムツをママと一緒に交換してくれる優しいお姉ちゃん♥ 朝陽くんは人見知りしない良い子だね!

これからも2人仲良しでいてね♪

(父：勇二 母：佑佳)

今月の料理

かじきまぐろの黒酢ソテー
＜高血圧予防食＞



- ①かじきまぐろ4切れは、塩・コショウ(各少々)、小麦粉(適量)をまぶす。
 - ②好みの付け合わせ野菜を茹でてから食べやすい大きさに切り、フライパンにバター大さじ1を溶かし、塩・コショウ(各少々)で炒めて取り出す。
 - ③フライパンにサラダ油大さじ1を熱して①のかじきを並べ入れ、両面に焼き色がつくまで焼く。
 - ④③にバター大さじ1を溶かし、しょうゆ小さじ2、黒酢大さじ3をまわし入れ、強火にして煮立てながらからめる。器に盛って②を添え、好みでさらに黒酢をかける。
- ＜4人分＞

＜1人分＞

エネルギー=324kcal
タンパク質=26.5g
脂質=10.0g
カルシウム=18mg
食塩相当量=1.3g



(食生活改善推進協議会)

●今月から市内幼稚園・保育園等が交替でこのコーナーを担当することになりました。



子育てアドバイス

給食、お弁当が始まりました



年少児にとっては初めてのお弁当。この時期は全部食べられたという満足感が大切です。残さず食べられるように、少し少なめがよいですね。嫌いな物は小さくしたり、見型抜きをしたりして、見

「いただきます」は、食べるという意味だけでなく、動物の命をいただくという意味もあります。「こちそうさま」は、動物の命を育てた人や料理を作ってくれた人への感謝の気持ちを表す言葉。食事のあいさつの意味を知ること、食べ物を大切にすることが育ってこればと願っています。

「いただきます」は、食べるという意味だけでなく、動物の命をいただくという意味もあります。「こちそうさま」は、動物の命を育てた人や料理を作ってくれた人への感謝の気持ちを表す言葉。食事のあいさつの意味を知ること、食べ物を大切にすることが育ってこればと願っています。

園では保育者もいっしょに「よくかんで食べようね」と言いながら食事をしています。ぜひ、ご家庭でも「よくかむ」ことを意識して食事をさせてください。

古河幼稚園

平成27年5月1日発行

●発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野224-8 古河市役所 0288002311
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.furukawa.lg.jp/>